

感染症情報 12月23日～1月5日

12月23日から29日

府下小児科197医療機関(堺市19)から

①感染性胃腸炎	1594例(堺市	126例)
②溶連菌感染症	594例(堺市	66例)
③RSウイルス感染症	141例(堺市	6例)
④咽頭結膜熱	136例(堺市	7例)
⑤伝染性紅斑	99例(堺市	8例)

府下インフルエンザ定点300医療機関(堺市29)から

インフルエンザ 5317例(堺市 578例)

12月30日から1月5日

府下小児科197医療機関(堺市19)からの**暫定報告**

①感染性胃腸炎	315例(堺市	5例)
②溶連菌感染症	81例(堺市	1例)
③RSウイルス感染症	42例(堺市	3例)
④伝染性紅斑	19例(堺市	0例)
⑤咽頭結膜熱	12例(堺市	0例)

府下インフルエンザ定点300医療機関(堺市29)から

インフルエンザ 3348例(堺市 127例)

が報告された。特に12月30日から1月5日は休診のところが多く、参考程度にさせていただきたい。

感染症報告数は12月23日から29日までがその前週より5.4%減の2,857件で、12月30日から1月5日までが529件であった。インフルエンザに関して、12月23日から29日はその前週から29%増で定点当たり17.72であった。堺市では同7%減で、定点当たりは19.93であった。同週には大阪府全ブロックで注意報レベルの10を超えていた。

12月23～29日の週に府下で麻疹の報告はなく、風疹が1例(堺市はなし)あり、年始からの累計は132例となった。